

# 魔法のプロジェクト2021 活動報告書

報告者氏名: 宮田 祥継 所属: 大阪市立天王寺小学校 記録日: 2022 年 2月 21日

キーワード: 書きの困難さ、自分なりの学び方の習得

## 【対象児の情報】

・学年

小学6年生の男児

・障害名

ADHD ASD

・障害と困難の内容

不安傾向が高く、見通しが見つからない活動に参加したり、集団での学習に取り組んだりすることが難しい。

不安感が高まったときに不適切な言動で気持ちを表してしまうことがある。

漢字の想起の苦手さから書くことへの抵抗感が強い。

・使用した機器に

■iPad iPhone watch chromebook AI スピーカー Pepper

## 【活動目的】

・当初のねらい

① 見通しをもたせたり、自分の解決する方法を習得したりする中で不安感を軽減し、安心して学校生活を送ることができきる。

② 自分が学習しやすい方法を習得したり、成功体験を積み上げたりする中で学習に対しての意欲を支える。

・実施期間

2021年6月～2022年3月

・実施者

宮田祥継(特別支援学級担任)

・実施者と対象児の関係

特別支援学級の担当教員

## 【活動内容と対象児の変化】

### ・対象児の事前の状況

#### ○個別指導になるまでの経緯について

4年生の9月頃までは、クラスで学習することができていたが、クラスの子が指導されている声で自分も怒られている気がしてしまったり、音楽の時間にリコーダーの演奏についていけなくなってしまったりと嫌なことがあった時に不適切な行動をしてしまうことが続いた。母から個別で学習できるようにしてほしいという願いがあった。そこから理科の授業以外はクラスに参加せず、特別支援学級で過ごすようになった。

#### ○一日の過ごし方について

#### <具体的な一日の時間割>

今も一日特別支援教室で過ごしている。自分で登校時間を決めていたが、大体2~3時間目から登校し6時間目まで授業を受け、帰るという生活をしている。算数と国語の学習は、特別支援学級の子たちと授業を受けている(3人程度)。その他の学習は、クラスの授業をMicrosoft Teamsで受けたり、個別で学習したりしている。理科の授業は、6年生の4月までクラスで受けることができていたが、専科の先生が変わったこともあり、クラスに参加することができなくなった。

	教科
1	算数
2	国語
3	理科
4	家庭科
5	学活
6	社会

国語と算数は特別支援学級の子たちと学習している。

理科、家庭科などは、先生と2人で学習している。

学活や社会科は、クラスの授業の様子をMicrosoft Teamsで見ながら学習している。

### ・活動の具体的内容

① 見通しをもたせたり、自分の解決する方法を習得したりする中で不安感を軽減し、安心して学校生活を送ることができる。

#### 情緒面を安定させるため

・1日の見通しをもって対象児が安心して学校生活を送るために、Microsoft Teamsに予定を入れ、いつでも1日のスケジュールを確認することができるようにした。また、不安なことがあれば質問できるようにした。

・事前に天気予報を確認し、次の日の登校時間を自分で決めるようにした。

・活動内容が明確になっていない時間にストレスを感じるため、自分が一人で取り組むことができる学習アプリを選び、自主学习できるようにした。

#### 進学について

・進学への不安をなくすために、Microsoft Teamsを通じて進学先の中学校と連携し、中学校の様子や行事の動画を共有し、本人の疑問に対する答えを交流したりすることで、進学への不安を減らすことにした。

② 自分が学習しやすい方法を習得したり、成功体験を積み上げたりする中で学習に対しての意欲を支える。

#### 学習について

・クラスと特別支援教室をMicrosoft Teamsでつなぐことで、別室で学級の授業を受けられるようにする。

・板書を見てノートに書くことに抵抗感があり、学習に集中できなかったり、不適切な行動をしてしまったりすることがあった。また書いたノートを見返して読み返すことができずに学習内容を振り返ることが難しかった。そのために学習の定着を図るために、板書の写真や学習したことを短くまとめた文章をタブレットにためていくことにした。

### ・対象児の事後の変化

① 見通しをもたせたり、自分の解決する方法を習得したりする中で不安感を軽減し、安心して学校生活を送ることができている。

#### 情緒面を安定させるため

・1日のスケジュールと天気予報を Microsoft Teams に入れておくことで見通しをもって学校生活を送ることができるようになった。以前は、母から遅刻の連絡をもらっていたが、Microsoft Teams で本人と直接コミュニケーションをとれるようになった。登校してくる時間を事前に決めているが、その時間に登校できない時は Microsoft Teams で連絡をしてもらうようになった。



月曜日の予定を入れておきます。  
1時間目  
2時間目 国語 取り扱い説明作り  
3時間目 社会 歴史  
4時間目 宿題  
5時間目 算数  
6時間目 クラブ

宮田先生のお天気情報！！  
降水確率10パー 多分晴れ☺  
最高気温 32度  
最低気温 23度  
湿度 66%  
来週はまだ天気良さそうだね！！  
土日しっかり休んでくださいー！  
待ってまーす

キ [redacted] 昨日、8:22  
二時間目から行きます

#### 進学について

・進学先の中学校の先生と Microsoft Teams でつながり、中学校の様子を写真や動画で送ってもらった。本人も中学校の先生と連絡を取ることができ、うれしそうだった。

こんばんは。  
今日は私が担当している技術工作部で大阪市立中学校総合文化祭に行ってきました。  
文化系の教科や部活動の作品展示や舞台発表が行われ、素晴らしい作品の数々を楽しんできました。  
技術工作部は製作中のロボットのデモンストレーション走行を披露しました。  
[redacted] は工作に興味があると聞きました。  
いろいろな工作も展示されていましたよ。  
そのほんの一部ですが写真で紹介しておきますね。

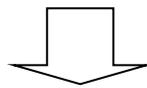
では今日はここまで。

キ [redacted] 2021年10月20日、11:25 ...  
ありがとうございます。ロボットたのしそうですね！

② 自分が学習しやすい方法を習得したり、成功体験を積み上げたりする中で学習に対しての意欲を支える。

学習について

・自分が一人でできる学習アプリ「数学クイズ なん度?」や「一筆書き」や「小学漢字 読み方 クイズ」を選び、自主的に取り組むことで、先生がいない時間や休み時間などの活動が明確になっていない時間を安心して過ごすことができ、ストレスを軽減することができた。



情緒を安定させるための2つの取り組みを通して、Microsoft Teamsで1日の予定が確認でき、日々の見通しが立っていることで安心して登校できたり、活動が明確でない時間にタブレットで学習アプリをすることができたりと本人の不安を少しずつ取り除くことができた。取り組みをする前よりも学校で過ごせる時間が増えた。以前は、急な予定の変更があると、本人も不安になり、不適切な行動をとってしまうことがあったが、今は事前に予定を伝えることができたり、不安なことがあれば質問することができたりすることから、不適切な行動も以前より、減った。本人も見通しをもって学校生活を過ごすことができている。

・クラスと特別支援教室を「Microsoft Teams」でつなぐことで、別室で学級の授業を受けることができた。班活動の時には、音声をオンにして、学級の友達と話し合い意見を言うことがある。気持ちのならない時は、タブレットを閉じ、別の活動ができるので、自分のペースで学習することができた。



・理科の授業では、学級に参加して受けることができるが、板書をノートに写すことができず、学習したことを後で見返すことができていなかった。そのためノートテイクを本人が得意としているローマ字でのキーボード入力にして、予測変換機能を用いて漢字の想起の負荷を下げた。

また、「PowerPoint」に板書やワークシートの写真、実験の動画などを貼り付け、最後に短い文章を打ち込んで、学習したことをまとめ、蓄積していくことができている。単元末に確認プリントをし、学習が定着できているか確認した。



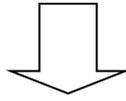
理科まとめ

ヒトの体や動物の体

大切な言葉

・心臓は、縮んだり緩んだりして、血液を送り出しています。この心臓の動きを、はく動といいます。

・はく動が血管を、伝わり、手首などで感じる動きを脈はく動といいます。



学習について2つの取り組みを通して、「Teamsで学級の様子をみたいです。」と自分なりに学習へ向おうとする肯定的な発言が増えたり、気持ちが乗らない時には「今日はやめておきます」と自分の気持ちを素直に伝えたりすることができ、自分の学習パターンを見つけることができています。単元末に理科の確認プリントをし、間違えたところをタブレットのまとめを見ながら、振り返ることができた。

#### 【報告者の気づきとエビデンス】

##### ・主観的気づき

#### (1) 前よりも安心して登校できるようになったのではないかな。

Microsoft Teamsで時間割や天気予報を送っておくことで、一日の見通しが立ち、前よりも不安感なく学校生活を過ごせるようになり、学校に登校できる日数が増えた。(表1)は今年度の出席日数の変化である。1学期に比べ、2学期から出席日数が増えてきた。本人も見通しが立っていて、一つ一つの授業で何をすることが分かっているから登校しやすいと言っていた。以前は、授業で何をすることが分からない状態で登校し、予想外の活動をしたり、予定が変更になったりすることが、不適切な行動へ原因になっていた。今は、登校前に一日の予定を確認し少しでも不安なことがあれば、質問したり、自分で登校しないという選択をしたりすることができるようになった。これにより、不適切な行動することが減ってきている。以前なら不適切な行動をしていた事例も今では、泣くことで怒りの感情を抑制することができるようになってきた。

#### (表1) 出席日数の変化

	1学期	2学期	3学期現在
出席日数	59/70日	79/86日	22/24日
割合	約84%	約92%	約92%

#### (2) 自分にあった学習方法が分かってきたのではないかな。

漢字の想起の苦手さや板書を見てノートに写す苦手さから、ノートを書くことができず、学習を見返したり、振り返ったりすることができていなかったが、学習したことを写真や短い言葉でタブレットに蓄積していくことで、確認プリントに取り組む際に分からない問題があると見返すようになった。

#### (3) 進学への不安を前よりも取り除けたのではないかな。

中学校への進学に不安感をもっており、それをできる限り取り除くために進学先と連携して、中学校の様子が分かるように行事の写真を送ってもらったり、クラブ活動の動画を送っていただいたりし、中学校の様子をタブレットでみるようになるようにした。その写真や動画をみることで、中学校に興味をもったり、中学校の先生に質問したりするようになった。

#### 今後の見通し

中学校に進学後、新たな環境で生活することになる。中学校でも、個別学習を続けていき、自分なりのペースで学んだり、学習しやすい方法で学習に取り組んだりできることを願っている。また、自己理解を深めていくながら、必要な支援を受け、力をつけていけるように支援していただけるように引き継ぎをしていく。